

安定した運用のために①

Autodesk Flame Family を使っていく中で、できるだけトラブルの少なく運用するための TIPS をご紹介します。

Desktop Reel を Clear して終了する

作業が終わり、アプリケーションを落とす前に必要な素材は Library に保存し、Desktop Reel を Clear しましょう。Clear Desktop は Desktop Reel のギアマークから行えます。



Desktop Reel を Clear することで起動時の vic の時間を短縮できるかもしれません。

【vic とは】

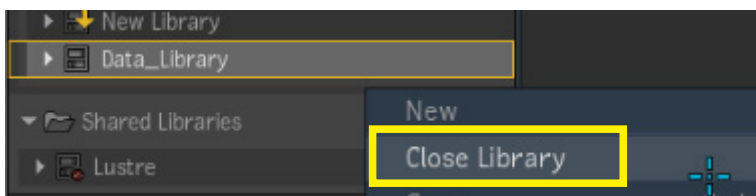
vic はフレームストア上にあるデータの整合性を検証します。一般的に、このツールは削除されたフレームの消去や、未参照フレームの発見に使用されます。

クリエイティブ・フィニッシングアプリケーションを起動する時、もし前回アプリケーションがクラッシュしていたことを検出すると、vic が自動的に実行されます。このチェックは、システムディスク上に格納されているクリップメタデータとフレームストア上のフレームとの間に何らかの矛盾があるかどうかを判断し、可能な時には、発見した問題を補修します。

ファイル数の多い Library を Close して終了する

作業が終わり、アプリケーションを落とす前にファイル数の多い Library を Close して終了しましょう。

Library の Close は Library を右クリックしサブメニューから「Close Library」を選択します。



v2015 以降は使用頻度の低い Library は自動的に Close されます。

Library を Close することで起動時の vic の時間を短縮できるかもしれません。

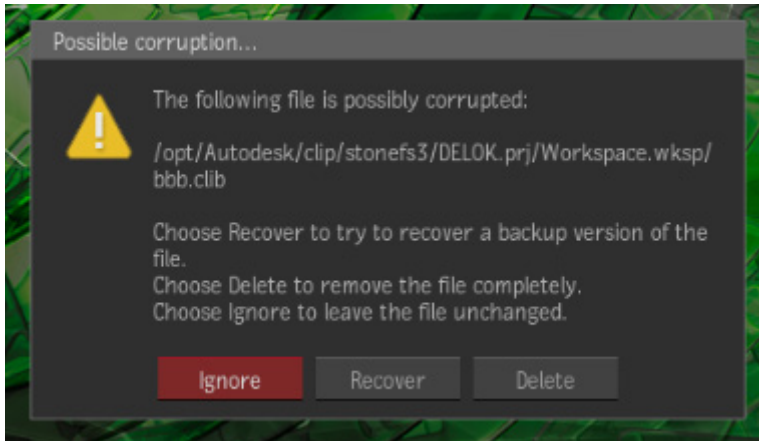
Library を複数に分けて運用する

クリップなどを管理する場合、Library の中にサブフォルダなどを作成し、ひとつの Library で作業することも可能ですが、メタデータの構造上 Library は複数に分けてクリップなどを管理しましょう。

Autodesk Flame Family ではそれぞれの Library 毎に独立したメタデータで管理しています。

アプリケーションの異常終了など予期せぬ現象が起こった場合に、最悪 Library のメタデータが破損してしまうことがあります。基本的に Library のメタデータは複数のバックアップを自動的に生成します。

Library のメタデータに不具合があった場合、正常に vic が動作していると以下のようなポップアップが表示されることがあります。



上記のポップアップでは DELOK というプロジェクトの bbb という名前の Library が破損しているという警告が表示されています。選択肢は以下の通りです。

- **Ignore** : 警告を無視し立ち上げます。破損したライブラリはグレーアウトし操作できなくなります。
- **Recover** : Library のメタデータバックアップから復元します。Library は復元されますが、最新の状態ではありません。
- **Delete** : 該当の Library を削除します。削除すると復元することができなくなりますので注意してください。

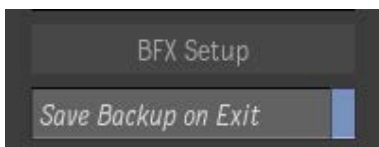
このように Library のメタデータが破損してもバックアップを戻すことが可能になっていますが、なるべく Library は分けて運用したほうが最悪の事態を避けられるでしょう。

また、vic が正常に動作していないとき、ポップアップは表示されずプロジェクトが立ち上がらないなどの現象が発生することがあります。その際は弊社サポートまでご連絡ください。

BFX バックアップを有効にする (v2017 以降)

BFX のセットアップデータは通常手動で保存する必要があります。保存せずに BFX を持ったセグメントデータが破損してしまった場合、セグメント内に作成された BFX セットアップデータも参照できなくなります。v2017 以降では BFX を Exit するときに、自動的に BFX セットアップデータをバックアップする機能が追加されています。

- Preferences > TL FX / Batch / BFX > BFX Setup で、「Save Backup on Exit」設定を有効にします。デフォルトで有効です。



- /usr/discreet/project/<project name>/batch/bfx_backup にバックアップされたセットアップが保存されます。
- BFX 名の後、backup setup の名前がつきます。

Note: Exit の時、同じ BFX をコピーすると、前のバックアップが上書きされます。

